

地域の宿泊・観光事業者向け

福岡市観光統計 2026年版の要点

公開統計の読み取り
事業者が確認したい指標



2024年 入込観光客数

福岡市の入込観光客数

対象：宿泊・観光事業者の企画担当

2024年実績

2,441

万人

前年比 +5.7%

過去最高を2年連続で更新

用途：次期販促会議の事前資料。市全体の動きを確認し、地域・月別の自社予約や来店実績を照合する。

判断に使える範囲

市全体の
来訪動向

個店の売上・繁忙時間・客層は、
この統計だけでは分からない。

自社の予約・来店データを重ねて検討する。

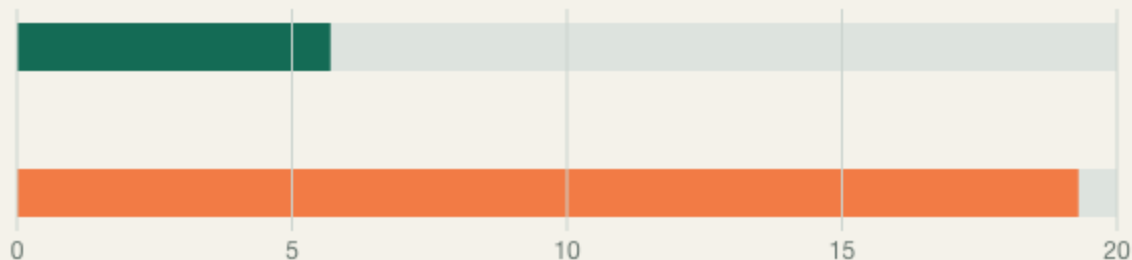
2024年の観光消費額の伸び

入込観光客数 | 前年比

+5.7%

観光消費額 | 前年比（市の推計）

+19.3%



共通目盛り：前年比 0～20%

観光消費額

7,388億円

市の推計値

比較結果

消費額の伸び率は、
入込観光客数の伸び率を上回った。

この差から客単価や個店売上の増加は結論できない。

宿泊施設の客室稼働率

客室稼働率

80.6 %

2025年 | 市内宿泊施設



0%

100%

前年 80.4%

+0.2pt

読み違えないために

高い稼働率は
市内全体の値。

施設ごとの差、曜日・月別の偏り、客室単価はこの数字だけでは分からない。

外国人入国者数

2025年

433.2

万人

2年連続で過去最高

出身地別の構成を確認する

市全体の合計だけで販促言語を決めない。
自社の来店・予約データと、地域別・季節別の
訪問者構成を重ねて考える。

事業者が照合したい自社データ

- 1 予約・来店の月別推移
- 2 居住地／言語別の問い合わせ
- 3 客単価と購入カテゴリ
- 4 繁忙時間・欠品記録

観光統計を自社の判断に使う方法

01

地域を絞る

自店の商圈・駅・観光動線

02

期間を合わせる

月別・曜日別に同じ期間で比較

03

自社データを重ねる

予約、来店、客単価、欠品

04

小さく試す

商品・営業時間・案内を一つ変える

会議で決めるのは「観光客が増えたから何をするか」ではない。

自社のどの数字を見れば、次の一手を判断できるか。

統計の出典と数値の定義

福岡市「福岡市の観光・MICE 2026年版（福岡市観光統計）」

公開：2026年5月12日 | 項目ごとに2024年または2025年の実績

公式ページ

city.fukuoka.lg.jp/keizai/marketing/shisei/fukuokashikankoutoukei2026.html

主な掲載値

- ・ 2024年 入込観光客数 2,441万人（前年比 +5.7%）
- ・ 2024年 観光消費額 7,388億円（前年比 +19.3%）
- ・ 2025年 宿泊施設客室稼働率 80.6%（2024年 80.4%）
- ・ 2025年 外国人入国者数 433.2万人

観光消費額・経済波及効果は推計値。項目ごとに定義・対象年を原典で確認する。

客室数と今後の供給計画

2025年

39,812室

市内の宿泊施設客室数

2026年計画

32施設

新たな客室の計画値

892室

読み取りの手順

- 1 需要：観光客数・稼働率の推移
- 2 供給：開業・改装の時期と室数
- 3 自社：商圏・客層・予約の実績
- 4 判断：自社の投資条件と照合

2026年の数値は計画段階。実施・完成の確定値として扱わない。需要と供給で対象年・定義を確認する。

次期販促会議で照合する自社データ

地域 店舗・施設の商圈、最寄駅、観光動線

時期 月別・曜日別の予約／来店数

客層 居住地、予約経路、問い合わせ言語

売上 客単価、商品別売上、キャンセル

供給 人員、客室・席、欠品や受入制限

会議の記入欄 確認したい差：_____ 対象期間：_____ 次に確かめること：_____

市統計の対象年に合わせ、自社側も同じ期間で集計する。